

## 『本当の安息はどこに』 出エジプト記20章8～11節 2018.7.8 聖日礼拝説教より

『第七の日に、神は御自分の仕事を完成され…御自分の仕事を離れ、安息なされた。この日に神はすべての創造の仕事から離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。』創世記 2:2～3（新共同訳）

「安息日(シャバット)」は「中止する(シャーブス)」が語源。他の6日間とは完全に区別し、全てを中断して主を礼拝する日！

①安息日は、いつ始まった？…「安息日」が定められたのは天地創造の時(出エジプト 20:11)。神様は疲れて休まれたのではなく、「6日働き7日目に休む」という、祝福のリズムの重要性と時間管理の必要性を説かれた！仕事と休養のバランスを失うとき、人は「燃え尽き」、過労死も…。繁栄の陰で、人は心も体も家庭もボロボロに壊して滅ぼしている。忙しい手を止め、神の前に静まり、祈り、身も心も魂も安息させる、その「賢い時間管理」が求められている！全ての時間は神からの賜物。エペソ 5:15～16 の「十分に生かして(エクサゴラゾ-: 贖い出す)」とは、わがままに使っていた時を取り戻し、活動と安息のバランスを回復することでもある。神は創造後、全被造物をご覧になり、「非常に良い」と大絶賛(創世記 2:3)！安息日に神は、その創造を終え、私たちをご覧になり、微笑み、『愛しているよ！わが目にあなたは素晴らしく、大切で特別な存在だ。わたしが創ったのだから』と言われる。★安息日は、この創り主の声を聞く日！『あなたはわたしのものだ(イザヤ書 43:1)』と。

②安息日から主の日へ…安息日が、週の終わりから週の初めの日に変わったのは、主の復活より(ヨハネ 20:19)。イエス様は不安と恐れで隠れていた弟子たちの真ん中で「平安」を告げ、世の試練と悪に対する勝利を宣言し(ヨハネ 16:33)、永遠の臨在を約束(マタイ 28:20)！主は安息日に関する批判を受けた時、「わたしの父は今に至るまで働いている。ですからわたしも働く(ヨハネ 5:17)」と言われた。天地創造直後、人の罪ゆえに破られた神の安息！『あなたがたの背きが、わたし(たち)の安息を破った！休んでなどいられない！全地を贖い、人の罪を償うまで、わたしも父も働き続ける』と。十字架の贖いを信じ、復活の命を受け取った者には、平安と、主の臨在による世の闘いへの勝利を約束！

★私たちは安息日ごとに、この主の約束を聞き、その懐で憩いたい。そしてこの方が、罪と悪からの救い主であることを感謝しつつ、この安息を絶対に奪われないようにしたい。そして、疲れ果て、燃え尽きようとしている人に、この安息を伝えたい！